

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターしいのみ学園		
○保護者評価実施期間	R7年3月2日		R7年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年3月2日		R7年3月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○長年の児童発達支援センターとして実績が、保護者の信頼を得ている。特に、こどもたち同士が相手の存在を認め、励まし合いながら、困難なことにもチャレンジし、集団意識を高めていく支援に保護者からの賛同を得ている。	○集団での支援を基本として日々の設定保育や行事等を行っている。ほとんどはクラスの集団で活動しているが必要に応じて園全体で活動する場合もある。その際、こどもたち同士が互いに相手の頑張りや困り感等を認め合っていく(なかま作り)ように活動を設定し、声かけや動作化等の具体的支援を行っている。	○長い歴史の中で醸成された学園の風土を尊重していくとともに、新たな設定活動の開発や行事の設定、具体的な支援の方法等を見直すことも必要である。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○職員間での支援のあり方等を考えると、世代間での意思の疎通が十分でない場面がある。	○長年の経験者が少なく新卒から3年以内の保育士等が多い職場構成になっているため相互の考えや価値観等の共有が十分でないためと考えている。	○園内研修や全体ミーティング等を始めとする園内での職員協議の場を活性化する。具体的には、長時間の会議にならないように内容を精選することやさらに自由な発言を許容できる風土を作るために必要な事項のみ助言を行うような方法をとるように計画しています。
2			
3			